

Estuary 056



イスチユアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

いしかり
砂丘の風資料館

紀要 vol.8 のロンブン、pick up!

「きよう」って、なに？ 石狩の自然や歴史を、何十年、何百年先の未来に伝えるための大事な記録「論文」をまとめた冊子です。タイトルやキーワードが英語でも書いてあるけど、それは、カッコつけてるんじゃないくて、世界中の人が調べることができるように。本文を英語で書きちゃうと日本人が読みづらいからしないけど、世界もターゲットに、情報を発信しているのです。

今年、石狩ではどんな発見があった？ 春に刊行された第8巻から、この論文をPick up!!

石狩浜漂着の魚叩き棒は誰のものか？—北海道魚叩き棒の系譜を考える— (石橋孝夫) pp.1-22.



石狩川の河口近くの海岸に漂着していた「魚叩き棒」

Q. この研究を、ズバリ、一言で言うと？

石橋「去年、石狩川の河口近くで、流れ着いた「魚叩き棒」を見つけてね。いつごろ、どこで誰が使っていたものだろう？ それを解明したくて、縄文時代から現在まで、博物館からサケ孵化場まで、いろいろな魚叩き棒を調べて、比べてみました。」

Q. 魚叩き棒…。魚を、たたく…？

石橋「とった魚、サケなどの頭を叩いて絶命させる—そのためだけの棒が、魚叩き棒。現在はサケ・マスの孵化場や、釣りの人が使っていることもあるらしいけど、もともとはアイヌの人がこんな棒でサケを叩いていた。さらには、何千年も前の縄文時代の遺跡からも、同じような棒がこれまでにいくつか見つかっているんだよ。」

Q. どうしてわざわざ魚を叩くの？

石橋「ただ単に殺すためじゃなくてね、アイヌの人たちには儀式的な意味があるんだ。この棒で叩くことによって、サケの神様のもとに送り返す。この次もサケをたくさん送ってきてくださいね、と。棒に使う木の種類も決まっていて、ヤナギやミズキでないとダメらしい。そうでないとサケが戻ってこない、とか。同じようなことは日本の東北地方の漁師や、シベリアやカナダの先住民もやっている。」

Q. 現在でも叩く人はいるの？

石橋「漁業では、水揚げしたサケが暴れて痛んだりしないように棒で叩いて絶命させている所がある。孵化場なんかでも、卵を採るときに生きたままだと暴れてやりに

アくいでしょ？ だから、採ったサケを1匹ずつ棒で叩いている。実は、叩くための機械もあるんだって。」

Q. サケ叩きマシン？

石橋 「そう。サケの頭を突っ込んで、鉄の棒で叩いてくれる機械が。でもやっぱり、1匹1匹、棒を持って叩くほうが、使いやすいらしい。」

Q. 縄文時代の魚叩き棒は、アイヌ、現在まで受け継がれて来た、ということ？

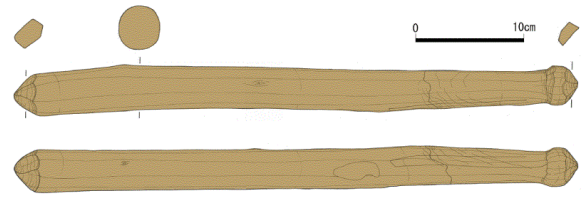
石橋 「おそらく、アイヌの叩き棒も縄文文化から続いできたものじゃないかな、と考えてる。形に共通点が多いからね。『使用痕』（魚を叩いてできた傷）が棒に残っていれば、もっとはっきり言えるんだけど、きれいに見えるものは少ない。でも、石狩紅葉山49号遺跡から掘り出された約4000年前の魚叩き棒には、ちゃんと使用痕が残っているんだ。」

Q. ほかのいるんな遺跡の叩き棒もたくさん調べればいいんじゃない？

石橋 「これまで縄文遺跡から見つかった叩き棒の数は、そんなに多くないんだ。『これ叩き棒かもな〜?』とい



現在も、漁業や孵化場の作業などで魚叩き棒を使っている。



石狩紅葉山49号遺跡から出土した、縄文時代の魚叩き棒。

うような木の破片は、実はたくさん見つかるんだけど、破片まで検討されていない。」

Q. それで、石狩川河口で見つけた叩き棒、誰が使っていたものか、わかったの？

石橋 「まだ断定はできないんだけど、おそらくは江戸時代の終わりから昭和前期にかけて、河口近くに住んでいたアイヌの人たちが使っていたものみたいだ。」

Q. 魚叩き棒の研究、つづきはあるの？

石橋 「この研究の続きとして、できるだけ多くの、遺跡から出土した魚叩き棒の可能性のある破片も調べて、整理・分類したい。“編年”と言うんだけど、『この形をした叩き棒は〇〇年くらい前のもの』と、まとめられるといいね。それができれば、縄文時代から現在まで、何千年もの長い間の人間とサケの関わりが明らかになってくる。アイヌ文化の解明や、信仰など民俗学の分野でも大事な意味があるんだよ。」◆

(聞き手：志賀健司)



「いしかり砂丘の風資料館紀要」は、石狩市民図書館などで読むことができます。資料館webからもPDFファイルをダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/publication.html>

■ 「いしかり砂丘の風資料館紀要」第8巻には、ほかにもこんなことが書いてあります！

論文・報告・資料紹介

- ・ 石狩浜漂着の魚叩き棒は誰のものか？—北海道魚叩き棒の系譜を考える—
- ・ 夕食のオカズに恐竜を見る—博物館におけるフライドチキン部分骨格標本製作学習の手法と意義—
- ・ 北海道厚田で1989年に撮影された低緯度オーロラ
- ・ 石狩紅葉山49号遺跡を活用した出張授業・出張展示の実施（4）
- ・ テーマ展「土器文様の不思議—石狩市内の遺跡から—」および関連講座について
- ・ 厚田（北海道石狩市）の土門家土蔵で発見されたお札類について

口絵

- ・ 1989年に北海道厚田で撮影された低緯度オーロラの写真
- ・ 古潭（北海道石狩市）から観測された石狩湾の上位層気流
- ・ 石狩川河口に漂着したアイヌ文化の木製品
- ・ テンキ製作の材料ハマニンニク

2018年の講座・展示

講座

種類	講座名	開催日	場所
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	4月22日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
体験講座	勾玉作り 古代のお守り・装飾品の勾玉を作ります。	7月28日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	サケ切身骨格標本をつくる サケの切身から部分骨格標本を作ります。	8月11日(土)	砂丘の風資料館
トークイベント	ウミベオロジー／石狩海辺学2018 海と陸との境界、海辺。その不思議や魅力を語ります。	9月29日(土)	紀伊國屋書店札幌本店
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	10月下旬(日)	砂丘の風資料館
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる フライドチキンから部分骨格標本を作ります。	12月15日(土)	砂丘の風資料館
連続講座	石狩大学博物館(全2回、4科目) 石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介。	1～2月予定(土)	石狩市民図書館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	2月予定(日)	石狩浜、砂丘の風資料館



展示

種類	展示名	開催期間	場所
テーマ展	海辺のもぐもぐ博物館 ～歯型から見える海の生態系～	4/28～6/24	砂丘の風資料館
テーマ展	明治2(1869)年渡道 中島家の150年	6/26～7/8	石狩市民図書館
テーマ展	石狩油田のジオロジー	7/28～9/30	砂丘の風資料館
テーマ展	資料館のお宝2019	12月下旬～3月	砂丘の風資料館



※講座は申込が必要です
(一部を除く)。

※日程・内容は変更になることが
あります。

詳しくは、砂丘の風資料館ホーム
ページ、石狩市広報誌などをご覧
ください。

石狩市民図書館
いしかり砂丘の風資料館
石狩浜海浜植物保護センター
石狩市公民館

いしかり館
ネットワーク

…って？

→石狩市内の「〇〇館」4つがタッグを組んで、
みなさんの生涯学習活動をサポートします！

CISE
ちせわつとわーく

…って？

→札幌周辺の博物館や動物園、
図書館などがコラボ！
ホンモノの標本をたくさん使って
自然や環境の教育をススメます！

2018年 春～夏の講座・展示

野外講座

**石狩ビーチコーマーズ
春の海辺の漂着物**



冬の季節風が運んできた海辺の漂着物を観察・採集して、正体や起源を考えます。

- 日時 4月22日(日) 09:00～13:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館、石狩浜
- 定員 20人(先着順) ■参加料 無料

4月
開催

テーマ展

石狩油田のジオロジー



石狩に道内最大の油田があったのは、なぜ？ その秘密にジオ(地球)から迫ります。油田を生み出した地層、化石、地形とは？

- 期間 7月28日(土)～9月30日(日)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

7月
開始

テーマ展

**海辺のもぐもぐ博物館
～歯型から見える海の生態系～**



海辺の貝殻や漂着物には、何かの“歯型”が付いていることがあります。歯型とその“容疑者”を並べて展示します。犯人は誰だ!?

- 期間 4月28日(土)～6月24日(日)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

4月
開始

体験講座

サケ切身

サケサイエンス・テラーリング2018
サケ博士になろう!



骨格標本をつくる

焼サケの中にも生命の進化が隠れている!? スーパーで売っているサケの切身から骨を取り出し、きれいに処理して学名ラベルを付ければ、立派な部分骨格標本のできあがり!

- 日時 8月11日(土) 12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人
- 定員 10人(先着順) ■参加料 無料
- 持ち物 サケ切身(食べられる状態で)。
- 申込 7/1(日)～8/8(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

8月
開催

体験講座

勾玉作り



勾玉とは、古代の人々が石などで魔除け、装身具等として身につけていたものです。いしかり砂丘の風の会スタッフがお手伝いします。

- 日時 7月28日(土) 10:00～12:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学以上(低学年は保護者同伴)
- 定員 20人(先着順)
- 参加料 400円または500円
(石の種類を当日選んでください。保険料込み)
- 持ち物 防寒着、長靴、帽子、ビニール袋など。
- 申込 7/1(日)～7/18(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

7月
開催

編集後記

紀要の紹介に2ページ使っちゃいました。4000年以上(?)前の縄文時代から使われていた道具が、今でも形を変えずに水産などの現場で使われているとは、びっくり。専門家以外の人には読みづらい目に触れることも少ない“論文”ですが、けっこう「へえ～」があるんですよ。(けん)

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 大人:300円、中学生以下:無料
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、「石狩温泉」下車、徒歩1分(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチユアリ No.56



2018年3月31日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/